

## 【10月の気象】

10月になると気温も下がって過ごしやすくなりますが、まだ台風の時期は終わっておらず油断はできません。2014年10月には、台風第18号と第19号の2つの台風によって、本県を含む広い範囲に暴風や大雨などの大きな災害をもたらしました。また、2017年には、台風第21号と第22号の2つの台風が四国の南海上を通りました。このうち台風第21号は、10月22日に大型で非常に強い勢力を保ったまま四国の南海上から潮岬の沖合を北上後、23日に静岡県へ上陸しました。このとき、日本の南海上にあった前線の活動が活発化し、本県を含む広い範囲で、浸水や冠水、土砂災害のほか、暴風・強風による災害も多く発生しました。

台風情報は積極的に入手し、早め早めの台風対策や避難行動をとってください。

台風情報は[こちら](https://www.jma.go.jp/jp/typh/) <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

10月は、過去に降ひょうによる農作物への被害が発生しています。1992年10月20日は、上空に強い寒気が流入したため、県内の山間部を中心にひょう（直径20ミリ前後）が降り、柑橘類、キウイフルーツ、ほうれん草、イチゴ、水稻などが被害を受けました。1997年10月14日も寒冷前線の通過に伴い、県内各地でひょう（直径10～30ミリ）やあられが降り、柑橘類、柿、キウイフルーツ等への被害が発生しています。

直径5ミリ以上の氷塊を「ひょう」といい、これより小さい氷粒を「あられ」といいます。

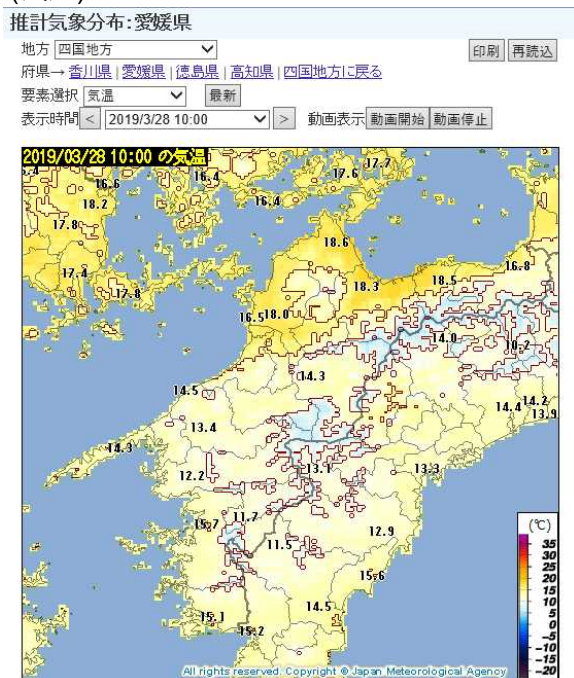
## 【気象用語】「推計気象分布」とは

推計気象分布とは、アメダスや気象衛星の観測データ等を基に、気温と天気の分布を算出し、視覚的に把握することのできる情報です。この情報は、気温（0.5 毎）と天気（5種類：晴、曇、雨、雨または雪、雪）の分布を1km四方の格子間隔で1時間毎に表示します。これを利用することで、最新の気温と天気の状況をひと目で、またきめ細かく把握することができます。

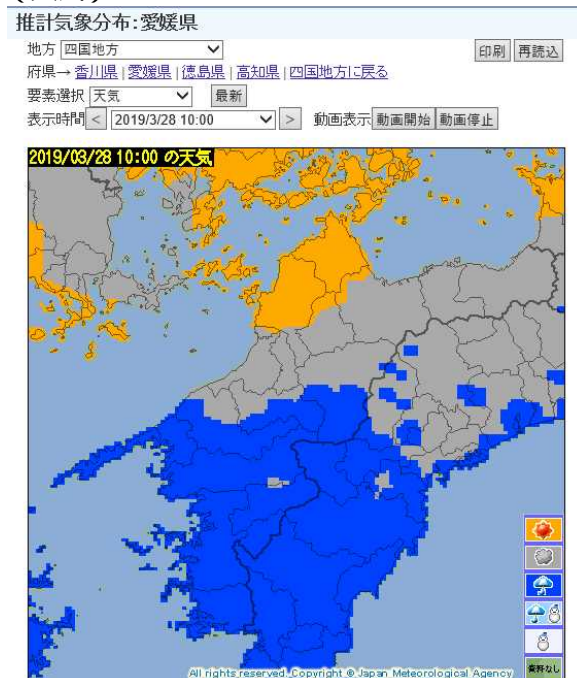
なお、推計気象分布と個々の観測地点における観測データは完全に一致しない場合があります。気温の分布や天気の面的な広がりに着目してご利用ください。

推計気象分布は[こちら](https://www.data.jma.go.jp/obd/bunpu/index.html?4032) <https://www.data.jma.go.jp/obd/bunpu/index.html?4032>

### （気温）



### （天気）



気温と天気の切り替えは「要素選択」で行います。

気温分布の拡大図では、同時刻のアメダスの気温観測値を重ねて表示します。